

本数が少ないバスを利用するので、早く着きすぎることが多く、また帰るバスを待つことが多いです。時間をつぶさなければならぬのですが、喫茶店などに入るとお金がかかるので、本屋で立ち読みをします。

趣味はコーラスです。本格的な合唱団に入りたいのですが、その合唱団の活動が夜で、最終バスが早い私は参加できません。

私は愛媛出身ですが、地元にはなかなか帰れません。交通費がかさむのと、知人や親せきへのお土産を買うことができないからです。夫のお墓参りも満足にいけません。

3 老齢加算がなくなつてからは、これまで述べた以上に節約した生活を送るようになりました。お金を使うことに、いつもいつもためらいを覚えます。

冠婚葬祭については、ご祝儀や香典を出す余裕がないので、基本的には、別の用事が入っていると告げて、遠慮させていただいています。非常に心苦しく思つております。

昨年の5月に愛媛に住む妹の夫が亡くなり、これには欠席というわけにはいきませんでした。しかしそう考へたのは、まともな香典が出せなくて恥ずかしい、宿泊費が出せないので誰かに泊めもらわなければならぬということでした。結局香典は3000円しか出せませんでした。知人宅に泊まれましたが、泊めてくれたお土産代さえも負担になりました。

近くに次女と孫が3人住んでいるため、週1回ほど市営バスを利用して会いに行きます。でも、お金がないため、日頃は、孫にお小遣いは一切渡すことができません。祖母らしいことができず、悔しい思いがあります。

私の苦しい現状を伝えることで、他の方々の苦しい生活を救えるかもしれない、と思い、今回提訴しました。裁判所には、私たちの生活の現状を肌で感じていただき、正当な判断をしていただきたいと願います。